

## 3月24日は世界結核デー

3月24日は世界結核デーです。1882年3月24日に細菌学者ロベルト・コッホが結核菌の発見を発表した日にちなみ、1997年の世界保健総会で制定されました。この日には、世界各地で結核終息の取り組みを進めるための様々な普及啓発活動が行われます。

### ご存じですか？結核のいま

結核は、肺に影響を及ぼす細菌によって引き起こされる病気で、HIV／エイズ、マラリアと並ぶ世界三大感染症です。2024年には世界で1070万人が結核に罹患したと推定され、120万人以上が結核により命を落としました<sup>※1</sup>。結核薬服用などにより予防も治療も可能な病気ですが、「結核ゼロ」への道のりはまだ遠いと言わざるを得ません。日本では、長年の努力により、2021年から「結核低まん延国」となりました。そのため、過去の病気と思われがちですが、2024年には1万人以上が罹患し、1400人以上の方が亡くられるという今も感染し得る病気です<sup>※2</sup>。

### 結核流行終息に向けた取り組み

結核流行の終息に向けて、WHO（世界保健機関）などの国際機関はもちろんのこと、日本においても政府や地方自治体、各種医療機関などにおいて様々な取り組みが行われています。公益社団法人日本WHOによると、結核対策への世界的な取り組みにより、2000年以降、推定8300万人の命が救われたそうです。世界結核デーの今年のテーマは“*Yes! We Can End TB! Led by countries, Powered by People.*”「私たちなら結核を終息できる！みんなの力で、各国で主導していこう！」です。結核終息に向けて各国の関係者で力を合わせて取り組みをより一層加速していくことを呼びかけています。一人ひとりの取り組みとしては、結核を正しく知ることが大切です。手洗い、換気などの感染予防に取り組み、咳が長引くときは早めに医療機関を受診しましょう。

### 広栄化学での取り組み ～結核薬中間体生産、供給のリーディングカンパニーとして

当社では、結核薬ピラジナミドの中間体である「シアノピラジン」及びイソニアジドの中間体である「γ-ピコリン」を、40年以上にわたり生産、供給しています。これらの結核薬中間体の生産にあたっては、連続生産可能で大量生産に適している当社コア技術の気相法を用いています。当社のシアノピラジンは、お客様である医薬メーカーからの支持を得て世界トップシェアを長年維持しており、今後も結核薬中間体の安定供給に努め、世界の結核薬の安定供給と普及、延いては結核流行の終息に貢献し続けてまいります。

※1（出典）世界保健機関(WHO) 「World TB Day 2026」

※2（出典）厚生労働省 「感染症情報 結核」

以上

